

6 中学校特別支援学級卒業者の進路状況

卒業者の進路状況は、表 18 のとおりである。

卒業者 1,625 人のうち、進学者(進学者のうち就業している者を含む。)が 1,573 人で 96.8%となり、前年度(96.7%)より 0.1 ポイント増加した。(Ⅲ統計表:第 28 表参照)

(1) 進学者の状況

進学者(進学者のうち就業している者を含む。)1,573 人のうち、特別支援学校の高等部へ 1,018 人(進学者の 64.7%)が進み、高等学校全日制課程(高等専門学校を含む。)へ 258 人(16.4%)、定時制課程へ 133 人(8.5%)、通信制課程へ 164 人(10.4%)が進んでいる。

(Ⅲ統計表:第 29 表参照)

(2) 就業者の状況

就業者 7 人の就業形態は、「常雇」が 2 人、「日雇・臨時」が 2 人、「家業従事」が 3 人であった。

(Ⅲ統計表:第 31 表参照)

表 18 中学校・義務教育学校特別支援学級:状況別卒業者数

(単位:人、%)

卒業年度	卒業者計	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就業している者
23	1,193 (100.0)	1,148 (96.2)	20 (1.7)	- -	9 (0.8)	13 (1.1)	3 (0.3)	- -
24	1,191 (100.0)	1,152 (96.7)	14 (1.2)	1 (0.1)	9 (0.8)	12 (1.0)	3 (0.3)	- -
25	1,288 (100.0)	1,242 (96.4)	14 (1.1)	- -	9 (0.7)	21 (1.6)	2 (0.2)	1 (0.1)
26	1,388 (100.0)	1,339 (96.5)	24 (1.7)	3 (0.2)	5 (0.4)	17 (1.2)	- -	- -
27	1,415 (100.0)	1,369 (96.7)	25 (1.8)	- -	6 (0.4)	10 (0.7)	5 (0.4)	- -
28	1,625 (100.0)	1,573 (96.8)	24 (1.5)	- -	7 (0.4)	11 (0.7)	10 (0.6)	- -

注1) 「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

2) 「就業者」には「専修学校等入学者のうち就業している者」を含み、「進学者のうち就業している者」は含まない。

7 特別支援学校卒業者の進路状況

(1) 視覚障害

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 19 のとおりである。

表 19 特別支援学校小学部(視覚障害):状況別卒業生数 (単位:人)

卒業年度	卒業生計	都内中学校等進学者					都外 進学	中等 学者	その他
		計	公立	特別支援 学校(再掲)	国立	私立			
23	8	8	8	8	8	-	-	-	-
24	11	10	10	10	10	-	-	1	-
25	9	9	9	9	9	-	-	-	-
26	6	5	5	5	5	-	-	1	-
27	9	9	9	9	9	-	-	-	-
28	12	12	12	12	12	-	-	-	-

(Ⅲ統計表:第 27 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 20 のとおりである。

表 20 特別支援学校中学部(視覚障害):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就業 している者
23	24	24	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
24	18	18	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
25	14	14	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
26	16	16	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
27	16	16	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
28	14	14	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-

(Ⅲ統計表:第 28 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 21 のとおりである。

卒業生 27 人のうち、進学者は 6 人(卒業生の 22.2%)で、内訳は「大学」が 2 人、「特別支援学校専攻科等」が 4 人となっている。

就業者は 6 人(卒業生の 22.2%)で、形態別にみると、「常雇」が 6 人となっている。職業別にみると、「あんま・はり師・指圧・きゅう師・マッサージ」が 5 人、「サービス職業」が 1 人となっている。

表 21 特別支援学校高等部(視覚障害):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学 者のうち 就業して いる者
23	37 (100.0)	12 (32.4)	3 (8.1)	9 (24.3)	11 (29.7)	1 (2.7)	1 (2.7)	-
24	40 (100.0)	12 (30.0)	1 (2.5)	12 (30.0)	6 (15.0)	9 (22.5)	-	-
25	43 (100.0)	10 (23.3)	-	14 (32.6)	12 (27.9)	7 (16.3)	-	-
26	39 (100.0)	7 (17.9)	2 (5.1)	11 (28.2)	7 (17.9)	11 (28.2)	1 (2.6)	-
27	40 (100.0)	8 (20.0)	-	15 (37.5)	8 (20.0)	9 (22.5)	-	-
28	27 (100.0)	6 (22.2)	3 (11.1)	8 (29.6)	6 (22.2)	4 (14.8)	-	-

注1)「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

2) 専攻科の卒業生を含む(「学校基本調査報告・東京都」(総務局)には専攻科は含まれないため、本書の数値と異なる。)

(Ⅲ統計表:第34・35・37・38表参照)

(2) 聴覚障害

ア 小学部の状況

卒業生の進路状況は、表 22 のとおりである。

表 22 特別支援学校小学部(聴覚障害):状況別卒業生数 (単位:人)

卒業年度	卒業生計	都内中学校等進学者					都外中 等進 学者	その他	
		計	公立	特別支援 学校(再掲)		国立			私立
				特別支援 学校	特別支援 学校(再掲)				
23	31	30	30	30	-	-	1	-	
24	32	32	31	31	1	-	-	-	
25	38	38	38	38	-	-	-	-	
26	35	34	34	34	-	-	1	-	
27	48	48	47	47	1	-	-	-	
28	43	43	43	43	-	-	-	-	

(Ⅲ統計表:第 27 表参照)

イ 中学部の状況

卒業生の進路状況は、表 23 のとおりである。

表 23 特別支援学校中学部(聴覚障害):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学 者のうち 就業して いる者
23	51 (100.0)	51 (100.0)	-	-	-	-	-	-
24	53 (100.0)	53 (100.0)	-	-	-	-	-	-
25	48 (100.0)	48 (100.0)	-	-	-	-	-	-
26	53 (100.0)	53 (100.0)	-	-	-	-	-	-
27	54 (100.0)	54 (100.0)	-	-	-	-	-	-
28	49 (100.0)	49 (100.0)	-	-	-	-	-	-

(Ⅲ統計表:第 28 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 24 のとおりである。

卒業者 78 人のうち、進学者は 33 人(卒業者の 42.3%)で、そのうち 12 人が「特別支援学校専攻科等」に進学しており、進学者に対する比率は 36.4%になっている。

就業者は 32 人(卒業者の 41.0%)で、形態別にみると、「常雇」が最も多く 29 人となっており、就業者の 90.6%となっている。職業別にみると、「事務」が 18 人、「技能工等」が 6 人、「サービス職業」が 8 人となっている。

表 24 特別支援学校高等部(聴覚障害):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就業している者	
23	58 (100.0)	33 (56.9)	2 (3.4)	4 (6.9)	18 (31.0)	1 (1.7)	-	-	-
24	72 (100.0)	35 (48.6)	5 (6.9)	4 (5.6)	26 (36.1)	2 (2.8)	-	-	-
25	67 (100.0)	30 (44.8)	-	7 (10.4)	25 (37.3)	5 (7.5)	-	-	-
26	66 (100.0)	31 (47.0)	4 (6.1)	6 (9.1)	25 (37.9)	-	-	-	-
27	75 (100.0)	38 (50.7)	1 (1.3)	4 (5.3)	30 (40.0)	2 (2.7)	-	-	-
28	78 (100.0)	33 (42.3)	5 (6.4)	4 (5.1)	32 (41.0)	3 (3.8)	1 (1.3)	-	-

注1) 「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

2) 専攻科の卒業生を含む(「学校基本調査報告・東京都」(総務局)には専攻科は含まれないため、本書の数値と異なる。)

(Ⅲ統計表:第 34・35・37・38 表参照)

(3) 肢体不自由

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 25 のとおりである。

表 25 特別支援学校小学部(肢体不自由):状況別卒業生数 (単位:人)

卒業年度	卒業生計	都内中学校等進学者					都外中学校等進学者	その他	
		計	公立	特別支援学校(再掲)		国立			私立
23	159	159	159		158	-	-	-	-
24	150	148	147		147	1	-	2	-
25	145	145	145		145	-	-	-	-
26	164	164	145		145	10	9	-	-
27	131	130	123		123	7	-	1	-
28	151	149	149		147	-	-	2	-

(Ⅲ統計表:第 27 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 26 のとおりである。

表 26 特別支援学校中学部(肢体不自由):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就業 している者
23	166 (100.0)	165 (99.4)	-	-	-	-	1 (0.6)	-
24	154 (100.0)	153 (99.4)	-	-	-	1 (0.6)	-	-
25	182 (100.0)	181 (99.5)	-	-	-	1 (0.5)	-	-
26	175 (100.0)	175 (100.0)	-	-	-	-	-	-
27	181 (100.0)	181 (100.0)	-	-	-	-	-	-
28	168 (100.0)	167 (99.4)	-	-	-	1 (0.6)	-	-

注)「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

(Ⅲ統計表:第 28・29 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 27 のとおりである。

卒業生 196 人のうち、社会福祉施設入所、通所者が最も多く 174 人で、卒業生に占める割合は、88.8%となっている。社会福祉施設入所、通所者のうち在学中から入所、通所している者が 3 人(社会福祉施設入所、通所者のうち 1.7%)となっている。

表 27 特別支援学校高等部(肢体不自由):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就業 している者
23	160 (100.0)	5 (3.1)	4 (2.5)	137 (85.6)	4 (2.5)	9 (5.6)	1 (0.6)	-
24	187 (100.0)	4 (2.1)	4 (2.1)	165 (88.2)	7 (3.7)	7 (3.7)	-	-
25	181 (100.0)	4 (2.2)	4 (2.2)	155 (85.6)	5 (2.8)	12 (6.6)	1 (0.6)	-
26	195 (100.0)	8 (4.1)	4 (2.1)	170 (87.2)	6 (3.1)	7 (3.6)	-	-
27	177 (100.0)	10 (5.6)	5 (2.8)	152 (85.9)	4 (2.3)	5 (2.8)	1 (0.6)	-
28	196 (100.0)	6 (3.1)	2 (1.0)	174 (88.8)	6 (3.1)	6 (3.1)	2 (1.0)	-

(Ⅲ統計表:第 34・36 表参照)

(4) 知的障害

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 28 のとおりである。

表 28 特別支援学校小学部(知的障害):状況別卒業生数 (単位:人)

卒業年度	卒業生計	都内中学校等進学者					都外中学校等進学者	その他
		計	公立	特別支援学校(再掲)	国立	私立		
23	325	323	323	321	-	-	2	-
24	381	379	376	374	-	3	2	-
25	386	383	383	379	-	-	3	-
26	392	388	374	373	13	1	3	1
27	376	376	365	365	-	11	-	-
28	377	376	376	373	-	-	1	-

(Ⅲ統計表:第 27 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 29 のとおりである。

表 29 特別支援学校中学部(知的障害):状況別卒業生数 (単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就業している者
23	459	456	-	-	-	2	1	-
	(100.0)	(99.3)	-	-	-	(0.4)	(0.2)	-
24	493	488	-	2	-	3	-	-
	(100.0)	(99.0)	-	(0.4)	-	(0.6)	-	-
25	529	524	-	2	-	3	-	-
	(100.0)	(99.1)	-	(0.4)	-	(0.6)	-	-
26	497	494	-	-	-	2	1	-
	(100.0)	(99.4)	-	-	-	(0.4)	(0.2)	-
27	566	563	-	1	-	2	-	-
	(100.0)	(99.5)	-	(0.2)	-	(0.4)	-	-
28	547	545	-	-	1	1	-	-
	(100.0)	(99.6)	-	-	(0.2)	(0.2)	-	-

注)「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

(Ⅲ統計表:第 28 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 30 のとおりである。

卒業者は 1,580 人で、社会福祉施設入所、通所者が 815 人(卒業者の 51.6%)と最も多く、次いで就業者が 710 人(卒業者の 44.9%)となっている。

就業者を形態別にみると「パートタイム」が最も多く 313 人(就業者の 44.1%)となっている。職業別にみると「サービス職業」が最も多く 345 人(就業者の 48.6%)となっている。

表 30 特別支援学校高等部(知的障害): 状況別卒業生数

(単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就業 している者
23	1,254 (100.0)	-	12 (1.0)	684 (54.5)	524 (41.8)	28 (2.2)	6 (0.5)	-
24	1,402 (100.0)	-	17 (1.2)	751 (53.6)	604 (43.1)	29 (2.1)	1 (0.1)	-
25	1,452 (100.0)	-	17 (1.2)	762 (52.5)	628 (43.3)	44 (3.0)	1 (0.1)	-
26	1,479 (100.0)	3 (0.2)	13 (0.9)	765 (51.7)	656 (44.4)	40 (2.7)	2 (0.1)	-
27	1,512 (100.0)	1 (0.1)	6 (0.4)	756 (50.0)	702 (46.4)	40 (2.6)	7 (0.5)	-
28	1,580 (100.0)	1 (0.1)	10 (0.6)	815 (51.6)	710 (44.9)	44 (2.8)	-	-

(Ⅲ統計表:第 34・36・37・38 表参照)

(5) 病弱

ア 小学部の状況

卒業生の進路状況は、表 31 のとおりである。

表 31 特別支援学校小学部(病弱): 状況別卒業生数

(単位:人)

卒業年度	卒業生計	都内中学校等進学者					都外中 学校等 進学者	その他
		計	公立	特別支援 学校(再掲)	国立	私立		
23	5	5	5	4	-	-	-	-
24	-	-	-	-	-	-	-	-
25	-	-	-	-	-	-	-	-
26	3	3	3	2	-	-	-	-
27	-	-	-	-	-	-	-	-
28	1	1	1	1	-	-	-	-

(Ⅲ統計表:第 27 表参照)

イ 中学部の状況

卒業生の進路状況は、表 32 のとおりである。

表 32 特別支援学校中学部(病弱): 状況別卒業生数

(単位:人、%)

卒業年度	卒業生計	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就業 している者
23	5 (100.0)	5 (100.0)	-	-	-	-	-	-
24	3 (100.0)	3 (100.0)	-	-	-	-	-	-
25	4 (100.0)	4 (100.0)	-	-	-	-	-	-
26	8 (100.0)	7 (87.5)	-	-	-	1 (12.5)	-	-
27	-	-	-	-	-	-	-	-
28	1 (100.0)	1 (100.0)	-	-	-	-	-	-

注)「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

(Ⅲ統計表:第 28 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 33 のとおりである。

卒業者 3 人のうち、専修学校等入学者が最も多く 2 人で、卒業者に占める割合は、66.7%となっている。専修学校等入学者のうち公共職業能力開発施設入学者が 1 人(専修学校等入学者のうち 50.0%)となっている。

表 33 特別支援学校高等部(病弱):状況別卒業者数

(単位:人、%)

卒業年度	卒業者計	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就業している者
23	2 (100.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	-	-	-	-	-
24	6 (100.0)	1 (16.7)	4 (66.7)	-	-	1 (16.7)	-	-
25	1 (100.0)	-	0	1 (100.0)	-	-	-	-
26	2 (100.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	-	-	-	-	-
27	2 (100.0)	-	1 (50.0)	1 (50.0)	-	-	-	-
28	3 (100.0)	-	2 (66.7)	1 (33.3)	-	-	-	-

(Ⅲ統計表:第 34 表参照)

(6) 区立特別支援学校

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 34 のとおりである。

表 34 区立特別支援学校小学部:状況別卒業者数

(単位:人)

卒業年度	卒業者計	都内中学校等進学者					都外中学校等進学者	その他
		計	公立	特別支援学校(再掲)	国立	私立		
23	53	51	51	14	-	-	2	-
24	43	41	36	15	-	5	2	-
25	37	36	36	5	-	-	1	-
26	38	36	33	11	-	3	2	-
27	38	38	35	8	-	3	-	-
28	44	43	42	12	-	1	1	-

(Ⅲ統計表:第 27 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 35 のとおりである。

表 35 区立特別支援学校中学部:状況別卒業者数

(単位:人、%)

卒業年度	卒業者計	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就業者	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
23	12 (100.0)	12 (100.0)	-	-	-	-	-	-
24	13 (100.0)	13 (100.0)	-	-	-	-	-	-
25	15 (100.0)	14 (93.3)	-	-	-	1 (6.7)	-	-
26	21 (100.0)	21 (100.0)	-	-	-	-	-	-
27	22 (100.0)	21 (95.5)	-	1 (4.5)	-	-	-	-
28	10 (100.0)	9 (90.0)	-	-	-	1 (10.0)	-	-

注)「進学者」には「進学者のうち就業している者」を含む。

(Ⅲ統計表:第 28 表参照)